

# 開発行為等に関する申告書

1 申告書提出年月日	令和 年 月 日	7	建築の区分	ア 新 築		
2 建築確認申請者住所及び氏名				イ 用途の変更を伴う改築		
3 敷地となる土地の都市計画区域区分	ア 市街化区域    イ 市街化調整区域    ㊦ 非線引区域			ウ 用途の変更を伴わない改築 エ 増 築		
4 敷地となる土地の面積	m <sup>2</sup>	8	建築床面積 (新築・改築・増築)	m <sup>2</sup>		
5 建築を行うために開発行為を伴うことの有無	ア 伴う    イ 伴わない	9	用途変更を伴う改築床面積	m <sup>2</sup>		
6 開発行為を伴う場合の開発区域の面積	m <sup>2</sup>	10	建築物の用途			
土地の表示	所 在	地 番	地 目	面 積		
	鴨川市			m <sup>2</sup>		
	字			m <sup>2</sup>		
				m <sup>2</sup>		
				m <sup>2</sup>		
都市計画法第二十九条又は第四十三条に関する事項	(1) 市街化区域・市街化調整区域・非線引区域	ア 都市計画法第29条第3号に規定する公益施設の建築	(2) 市街化区域・非線引区域	ア	(ア) 土地区画整理事業区域内	
		イ 都市計画施設の整備に関する事業区域内における建築		イ	(イ) 工業団地造成事業区域内	
		ウ 市街地開発事業でない土地区画整理事業区域内の建築		ウ	(ウ) 新住宅市街地開発事業区域内	
		エ 公有水面埋立事業竣工許可前の土地における建築		エ	(エ) 市街地再開発事業区域内	
		オ 非常災害のため必要な応急措置としての建築		イ	既存(従前)建築物の敷地における建築	
		カ 車庫・物置等附属建築物の建築		ウ	政令で定める規模未満の造成地における建築	
		キ 開発許可を受けた造成地における建築		(3) 市街化調整区域	ア	法第43条の許可を受けた建築物の建築
		ク 住宅地造成事業認可等を受けた造成地における建築			イ	開発行為を伴わない増築
	(4) 市街化調整区域内	ア 農林漁業住宅又は政令第20条第5号の90平方メートル以内の農林漁業用建築物	ウ	用途の変更を伴わない改築		
		イ 物品の販売等を行う50平方メートル以内の店舗、事業場等で業務用の面積が2分の1以上(開発行為を伴う場合は、敷地100平方メートル以内)のもの建築(政令第22条第6号、第35条第3号)	エ	政令第20条第1号から第4号までの農林漁業用建築物		
(5) 市街化区域・非線引区域内で(1)及び(2)以外の政令で定める規模以上の開発行為を伴う建築物の建築						
(6) 市街化調整区域内で(1)から(4)までに掲げる土地の区域以外の土地における建築又は(1)から(4)までに掲げる建築物以外の建築						
摘要						
13 農地転用の許可又は届出受理番号及び年月日	年 月 日 農地法第 条 許可届出 第 号					
※ 確認欄	1 都市計画法第3章第1節の規定に適合すると認める					
	上記事項につき確認したところ					
	2 都市計画法附則第4項の規定に適合すると認める 3 別途、知事の発行する証明書の添付を必要と認める 4 都市計画法に基づく許可(第 条)を受ける必要を認める					
市開発担当課	課 長	課長補佐	係 長	年 月 日		
都市計画事務所	所 長	課 長	主 任	年 月 日		

1. この申告書は、都市計画法施行規則第60条および同附則第3項の証明に代えるものです。

2. 確認欄には記載しないでください。

3. 3・5・7及び12欄は、該当する記号を丸で囲んでください。

4. 12(4)欄に該当する場合は、知事(都市計画事務所長)の証明書を受けてから建築確認の申請をしてください。

5. 12(5)または(6)欄に該当する場合は、知事(都市計画事務所長)の許可を受けてから建築確認の申請をしてください。

6. 12 摘要欄には、許可・認可・検査等関係手続きの番号及び年月日等の必要事項を記載してください。

7. この申告書は、申請者自身で所要の事項を記載し、開発担当課の確認を受けてから建築確認申請書に添付してください。

8. 非線引区域とは、市街化区域・市街化調整区域の指定のない都市計画区域をいう。